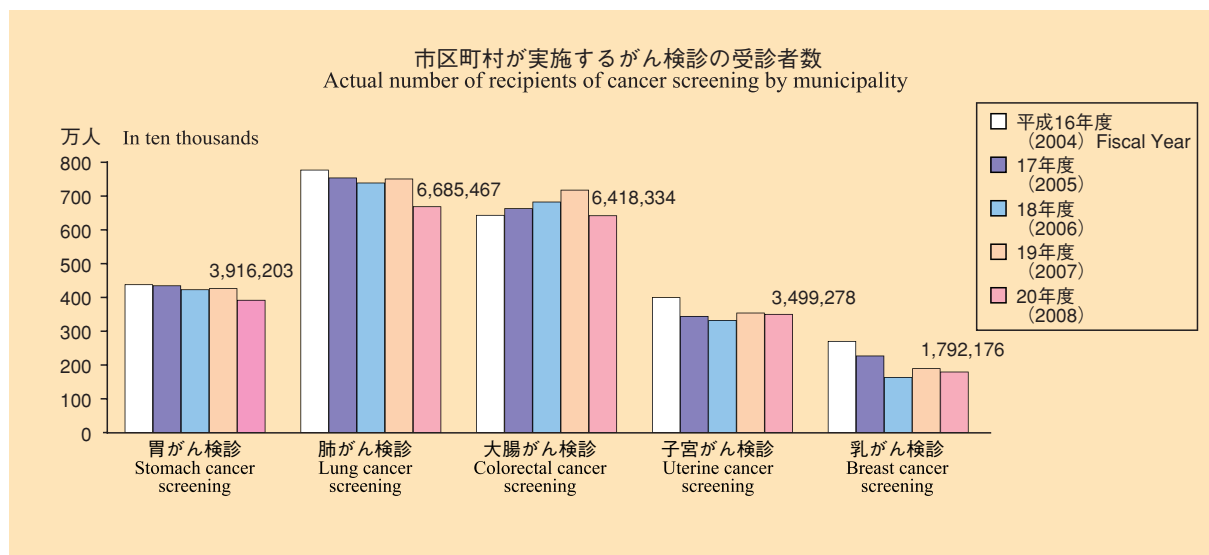


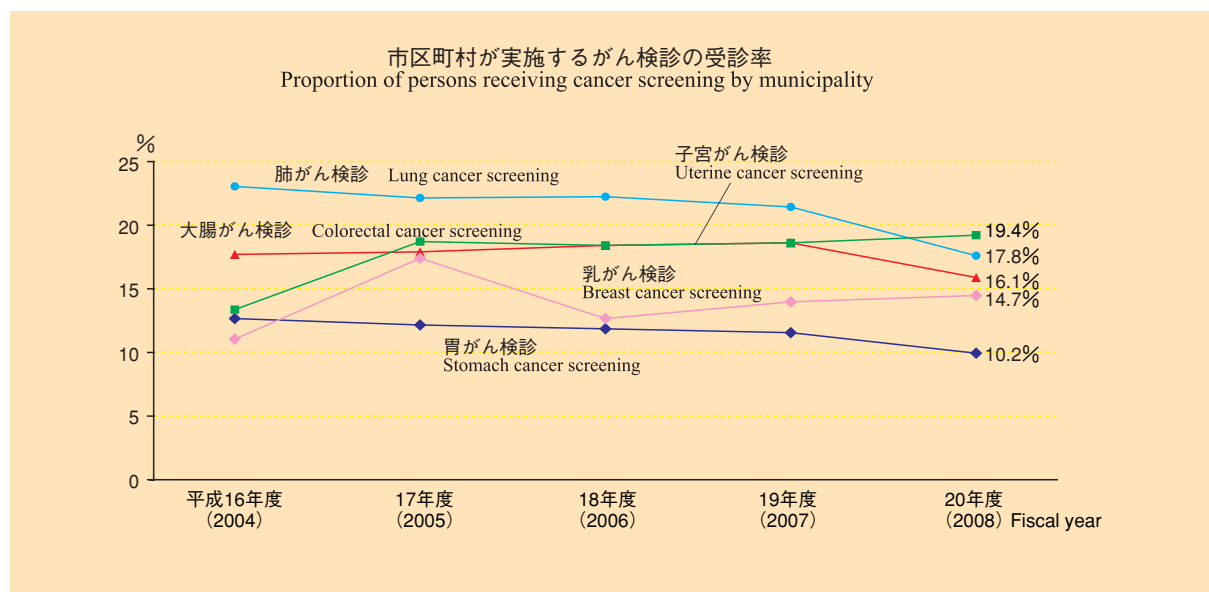
4. 保健事業の動向 Public Health Services

平成20年度は子宮がん検診・乳がん検診の受診率は前年度に比べて上昇

4-1 がん検診受診者数・受診率の年次推移 —平成16年度～平成20年度—
Trends in actual number of recipients of cancer screening, fiscal year 2004-fiscal year 2008



- 注：1) がん検診は、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき実施されている。
2) 「子宮がん検診」における受診者数は、「子宮頸がん検診」の受診者数である。
・胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診の対象は、40歳以上の男女
・子宮がん検診 対象：20歳以上の女 受診間隔：2年に1度
・乳がん検診 対象：40歳以上の女 受診間隔：2年に1度

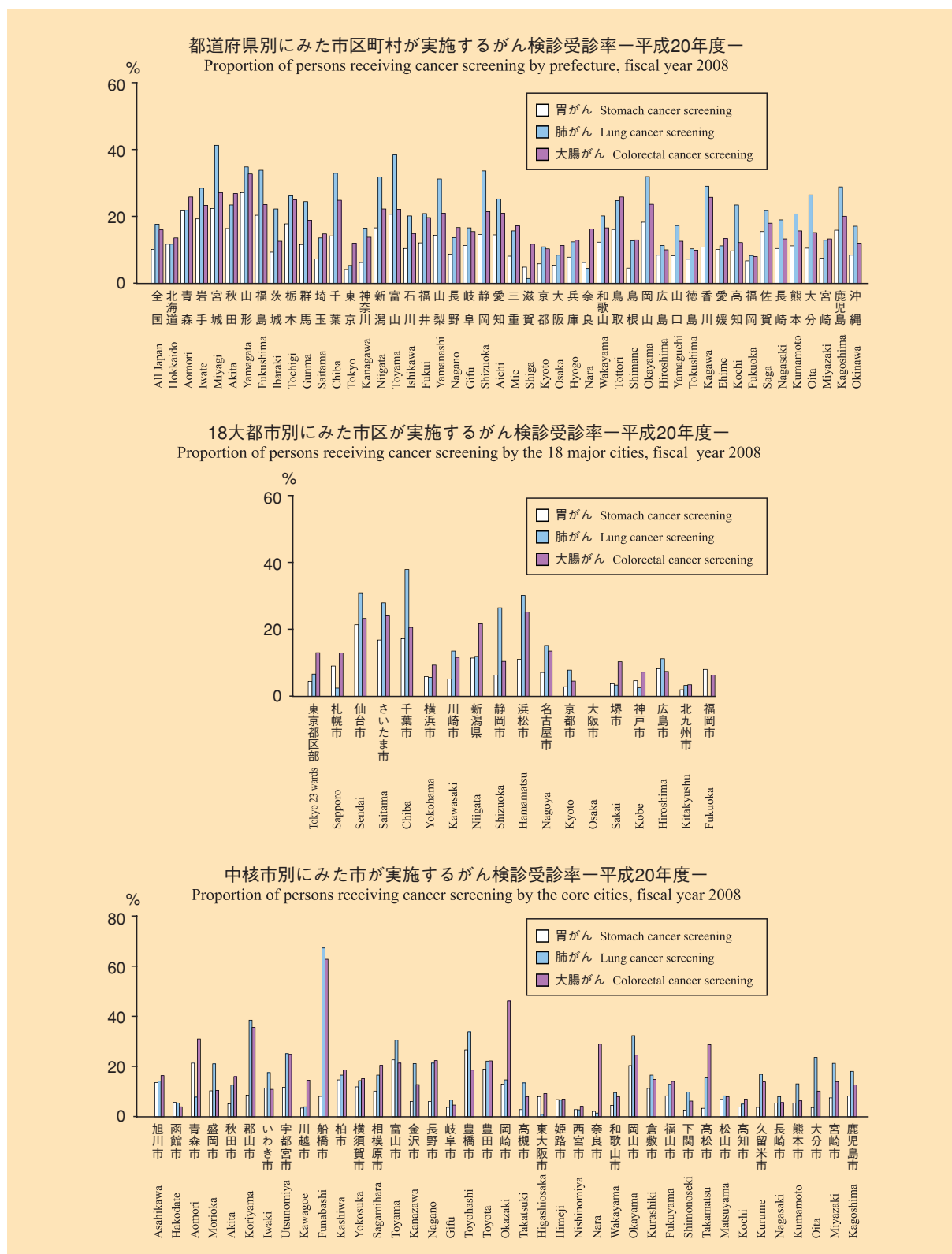


- 注：1) 受診率＝(受診者数/対象者数)×100
平成18年度「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の改正に伴い、平成17年度から「子宮がん」及び「乳がん」の受診率の算出方法を変更した。
平成17年度以降の子宮がん及び乳がん検診受診率＝(前年度の受診者数十該年度の受診者数－2年連続の受診者数)/(当該年度の対象者数)×100
平成17年度以降の受診率は、計数不明を除く。
2) 「子宮がん検診」における受診者数は、「子宮頸がん検診」の受診者数である。

(地域保健・健康増進事業報告)
(Report on Regional Public Health Services and Health Promotion Services)

市区町村が実施する「がん検診」の受診率は、胃がん検診が少ない傾向

4-2 都道府県—18大都市—中核市別にみたがん検診受診率 —平成20年度— (2-1) Proportion of persons receiving cancer screening by municipality, fiscal year 2008



「子宮がん検診」及び「乳がん検診」のグラフは次頁に掲載。

(地域保健・健康増進事業報告)
(Report on Regional Public Health Services and Health Promotion Services)